

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 8-1-4	事務事業名 公園広場等整備事業	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
----------------	--------------------	--------------------------

施策コード 環1-1	施策名 みどりの保全・活用	施策目標 市民による公園管理のしくみや、個人が所有する農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
---------------	------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
	平成18年度に策定した「公園・緑地の適正配置方針」に基づき、公園空白地区において計画的に公園緑地を整備する。 平成25年度から平成29年度までの5年間は、主として下保谷四丁目特別緑地保全地区(H24.12都市計画決定)の用地を計画的に買収する。 財源としては、社会資本整備総合交付金(国費：補助率1/3)、特別緑地保全地区指定促進補助(都費：補助率1/3、26年度まで)、地方債、みどり基金を活用する。	
	事業開始時期 平成13年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		862,149	27,129	70,031	917,238
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		254,000	8,000	0	332,000
地方債		27,000	4,900	60,800	522,200
その他()		0	0	0	62,000
一般財源		581,149	14,229	9,231	1,038
所要人員(B)	人	0.19	0.19	0.19	0.19
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,535	1,551	1,463	1,564
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	863,684	28,680	71,494	918,802
単位当たりコスト (E)=(D)/(新たに設定した公園緑地の設置数)	千円	123,383	4,097	5,107	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①新たに設定した公園緑地の設置数	箇所	7	7	14	0
②新たに設置された公園緑地の面積	m ²	4,309	750	1,708	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①開発行為等による提供公園・緑地を含む					
②当該年度に設置、又は提供された公園や緑地の箇所数及び面積					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 公園緑地の総数	目標値				230
	実績値	204	211	225	
二 公園緑地の総面積	目標値				247,632
	実績値	244,424	245,174	246,882	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	西東京市市民意識調査報告書によれば、居住地域に必要なものについて、15.0%の市民が小さな公園などをあげている、また18.6%の市民が多目的で使用できる大きな公園・広場をあげている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 下 当市は1人当たりの公園の面積が少ない。(平成24年4月1日現在) 都市公園=1.08m ² /人(26市中25位) 全ての公園緑地=1.79m ² /人(26市中25位)
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 特になし

事業コード 8-1-4	事務事業名 公園広場等整備事業	所管部課 みどり環境部 みどり公園課
----------------	-----------------	--------------------------

施策コード 環1-1	施策名 みどりの保全・活用	施策目標 市民による公園管理のしくみや、個人が所有する農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
---------------	------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>「みどりの基本計画」や「公園緑地の適正配置方針」に基づいてこれまで合併特例債等を活用し「西東京いこいの森公園」や「下野谷遺跡公園」などを計画的に整備をしてきた。また、今後の公園緑地の整備にあたり、「みどり基金」を平成24年度に創設し、みどりの創出や保全、活用を図るための財政的な措置を講じた。</p> <p>平成24年度には、市民にいこいを与える豊かなみどりを保全することを目的に下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区に指定し、平成25年度から5年計画で用地の買取りに着手する。</p> <p>今後は、公園計画のあり方やみどりの保全等について、総合的な見直しを検討する。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>公園緑地等の整備については、合併特例債等を活用し多くの公園等を整備し、また、「人にやさしいまちづくり条例」に基づき、大規模開発に伴う緑地の確保にも努めてきたところである。</p> <p>しかし、本市の市民一人当たりの公園面積（都市公園、公園緑地）が26市中25位という現状から、公園空白地区に計画的に公園緑地を整備することは必要と考えられる。</p> <p>公園広場等整備事業には多額の費用を要することから、平成24年度に「みどり基金」を創設し、財政的な措置を講じたことは評価できる。</p> <p>ただ、本事業には多額の財源を必要とすることから、市民ニーズを十分に把握した上で、長期的な公園配置計画の策定が必要である。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、市内における豊かなみどり空間の創出や、保全・活用を目指して行われており、今後5年間で、大規模な屋敷林を買い取ることによって、市内の貴重な緑地が確保されることとなる。</p> <p>実施にあたっての課題は、二次評価においても指摘のとおり、事業費用の確保と今後の公園整備計画のあり方である。</p> <p>事業費用の捻出については、補助金や基金といった財源の措置、地方債の活用による負担の世代間配分など、あらゆる手法を講じ、財政的負担の軽減に努めるとともに、長期的な公園配置計画の策定し、本市が目指す公園緑地の配置・規模を明らかにしたうえで、今後の整備に臨むべきである。</p>